

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2011-92725(P2011-92725A)

【公開日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2011-019

【出願番号】特願2010-242352(P2010-242352)

【国際特許分類】

A 6 3 B 45/00 (2006.01)

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 45/00 B

A 6 3 B 37/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月19日(2012.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

実施例1として図4に示すゴルフボール10bを作製した。このゴルフボールは、直径の異なる6種類の円形ディンプルが配置されており、ゴルフボールの最外径を42.7mm、基準球面の直径を42.5mm、基準球面の各断面の外周長さを133.52mmとし、ディンプルの総数Nを338個、第1の凸部面積A_{rt}を3.00mm²、第1の凹部面積A_{ru}を6.78mm²、第2の凸部面積A_{rt}を5.59mm²、第2の凹部面積A_{ru}を4.30mm²、赤道の凸部面積A_{rt}を6.27mm²、赤道の凹部面積A_{ru}を3.87mm²とした。よって、第1の断面の面粗度R_pは0.07mm、第2の断面の面粗度R_mは0.07mm、赤道断面の面粗度R_sは0.08となり、これらの平均である面粗度R_{da}は0.074となった。平均凸部面積S_{rt}を平均凹部面積S_{ru}で除した値S_{rt}/S_{ru}は0.78となった。R_{da}*Nは25.15となった。また、Re80000/2000rpmでの揚力係数C_Lに対するRe70000/2000rpmでの揚力係数C_Lの比を85%とした。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

また、実施例2として図1に示すゴルフボール10を、表1に記載したパラメータを変更したことを除き、実施例1と同様の設計で作製した。さらに、比較例1~3として、図5~図7に示すゴルフボール40a~40cを、表1に記載したパラメータを変更したことを除き、実施例1と同様の設計で作製した。これらの結果も表1に示す。